

学習活動1：深く考えることと個人の啓示

自分の人生で啓示を受けることについて、どのようなことを学びましたか。ヒラマン10章の前半では、ニーファイが神からの啓示と力を受けた経験について学びます。ニーファイの模範は、主からの啓示を受け、認識する能力を高める方法を教えています。

ヒラマン10：1-3を読み、ニーファイが主から啓示を受けるきっかけとなった事柄を見つけてください。

2節と3節の「深く考え〔る〕」という言葉に注意してください。自分の聖典のこの言葉に印をつけるとよいでしょう。

これらの聖句から学ぶことのできる一つの真理は、主に関することについて深く考えることが、啓示を受けるための準備になる、ということです。

- 深く考えるということが何なのか分からない人に、あなたならその意味をどのように説明しますか。
- 深く考えることが啓示を受けるのに役立つのはなぜでしょうか。

十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード会長は、次のように教えています：



「静まって聖霊に聞き従うことは大切です。わたしたちの周りには、世界の歴史上かつてなかったほど注意をそらせるものがあふれています。

だれにも瞑想し深く考える時間が必要です。世の救い主でさえ、地上での務めの間、瞑想の時間を見つけられました。」（M・ラッセル・バラード「静まって、わたしこそ神であることを知れ」〔ヤングアダルト対象の教会教育システムディボーションナル、2014年5月4日〕、broadcasts.ChurchofJesusChrist.org）

- 霊的なものについて深く考えることが難しくなる原因には、どのようなものがありますか。
- あなたが時間を取って深く考えたい「主に関すること」にはどのようなものがありますか。
- 深く考えることが啓示を受けることにつながることに、どのような経験をしたことがありますか。また、どのようなことを知っていますか。

この真理を自分の生活で応用するための目標を考えてください。目標を学習帳に記録するとよいでしょう。